

❖団体名	特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム
❖ASC2021 実施日	2021年11月9日

❖セフルチェック結果

指針項目	項目数	実現している項目数	実現していない項目数
組織運営基準	18	15	3
事業実施基準	11	11	0
会計基準	11	11	0
情報公開基準	4	4	0
合計	44	41	3

❖アカウントビリティへの考え方

ジャパン・プラットフォームは、NGO・経済界・政府等の社会の主要なパートナーをつなぐ、日本発の新しい人道支援の仕組みです。国際水準の信頼性および活動の透明性を高めることが、「求められるアカウントビリティ」へ繋がると考えております。国民の税金である ODA 資金と企業・団体および個人の皆さまからお寄せいただいた貴重な支援の最も効果的かつ効率的な有効活用を実現すべく、その管理の徹底を支える理事会によるガバナンス体制強化によって、アカウントビリティの一層の向上に努めて参ります。

❖アカウントビリティ向上の取組み紹介

- 1) 寄附者・助成機関と合意した用途に沿って、寄附金・助成金を使用している。
- 2) 組織全体の中長期計画の策定とその実施状況の把握。
- 3) 自己財源の安定化に努めている。

❖上記取組みの実施状況

- 1) 加盟する NGO は事前の組織審査を経ており、JPF 加盟 NGO への事業審査は外部の専門家を交えた審査委員会によって行われ、経験と実績に応じた支援金額が慎重に決定されています。支援活動開始後も、専門家によるプロジェクトの進捗モニタリングを行い、資金が適正に活かされているかを確認しております。
- 2) 次年度以降に向けた「複数年プログラムの対応方針」について改めて統合的な対応が進んでおります。これが今後の「JPF 全体の中長期的事業計画」の骨子となり得ると考えており、「中長期計画」のあり方についても検討して参ります。
- 3) 自己財源については、これまでの様々な取組みにより過去の数値よりも改善はされているものの、引き続き目指すべき自己財源確保に向けて取組みを強化すべく、新たな施策・制度を検討して参ります。